

光学定盤搬入打ち合わせメモ

麻生洋一

2014/9/10@神岡

参加者: 齊藤, 内山, 阿久津, 麻生

作業日時, 人員

9/29,9/30 現地作業準備

参加者: 川村, 中野 + 坑内作業に慣れている誰か

作業内容: 現場確認, 手順確認, 道具の準備, 墨出し

10/7も現地準備作業?

10/9 柏から光学定盤搬出

立会い: 中野, 川村?

10/16 搬入設置作業

参加者: 川村, 中野, 石塚 + 現場監督可能な誰か?

作業内容: 荷降ろし, 定盤移動, 設置, 位置調整, 水平出し

11/10 予備日

参加者: 川村, 中野

作業内容: 定盤位置調整作業の継続

備考: 既にレーザー部屋の防音壁やクリーンブースが完成しているので、作業性は悪い。ハンドパレット程度ならば入れられる。フォークなどは無理。

10/16の作業の流れ

- 10:00 日本防振から定盤到着(坑内前室部分まで)
- クレーンとフォークを使って, 定盤を車から降ろす
- フォークでレーザー部屋まで定盤を移動
- 昼食
- 以下の手順で, 定盤の位置決め&水平出し

光学定盤設置位置決めの手順 (次頁の図参照)

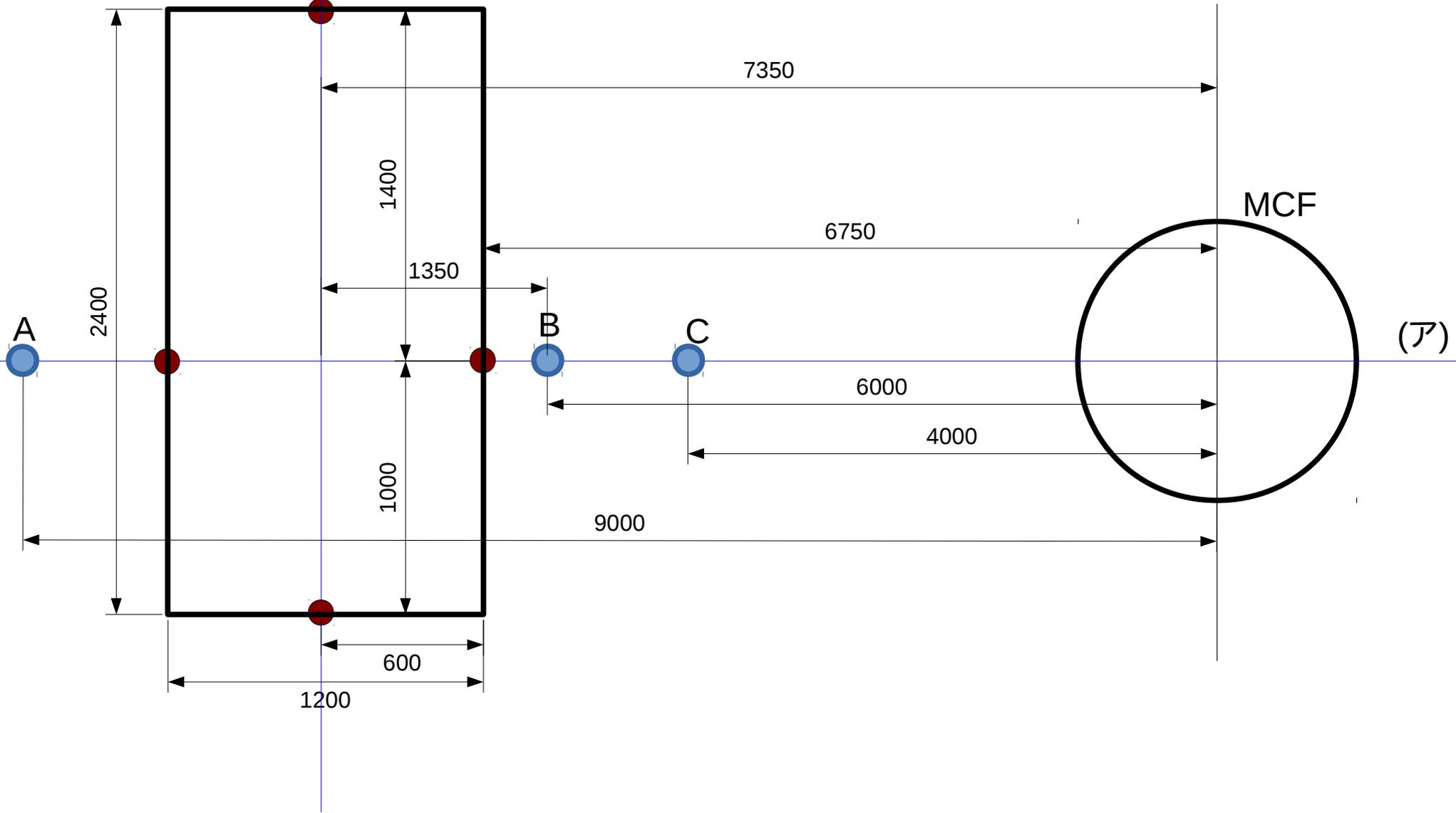
1. 光学定盤搬入前に床に二本の墨出しをしておく
 - i. 基準点A, Bを結ぶようにレーザー墨出し器で, 墨出し線(ア)を引く
 - ii. 基準点BからAに向けて1350の位置にレーザー墨出し器を置き, 直交する墨出し線(イ)を引く
2. 光学定盤をだいたいの位置に設置する(フォーク or ハンドパレット使用)
3. 光学定盤の所定の位置(図中赤丸)に振り下げを貼り付ける
4. ハンドパレットで定盤位置を動かしながら, 4つの振り下げが同時に墨出し線の上に来るように調節する
5. 爪ジャッキで持ち上げながら, シムを入れて, 光学定盤上面の水平出しをする
6. シムを入れると若干位置がずれると思うので, その場合, テコ棒で押して位置の微調節をする。
7. コマで脚をアンカー固定

(イ)

● 測量基準点

● 振り下げ

— 墨出し線



※縮尺適當

必要な物品

現地にあるもの

- フォークリフト, ハンドパレット
- レーザー墨出し器(直角の出せるもの)
- 水糸, 下げふり(4組あるか?)

100側で用意するもの

- マジック
- 定規(金尺 1m)
- 水準器
- シム (麻生が作る)
- テコ棒, ハンマー
- M16ボルト多数(首下100mm)
- 雑巾多数
- 靴カバー

誰が買う?

- アンカー穴清掃用掃除機

作業時の服装

- 作業服上下(クリーンスーツは不要)
- 靴は入坑時は安全靴
- 簡易クリーンブースでは, 普通の靴に靴カバーをしたものに履き替える
- 防塵マスクは必須